



プロ野球ペナントレース 応援順位表&月間MVP

2016年5月度

集計：非公認団体 日本プロ野球応援協会

当協会が公式ツールとして認定・採用している一球速報のスマホアプリ「メガホン! (※)」にて、試合観戦時にチームや選手を応援するためのコメント投稿ボタンが1回タップされた（押された）回数を「応援ポイント」として換算・集計。そのポイントに基づいたペナントレース各試合の応援合戦の勝敗順位と、プロ野球の各チームと選手がどれだけ応援されたかを測る応援ポイントの順位表です。

セ・リーグ 応援合戦順位表

集計期間：2016.3.25～5.31

	チーム	試合数	勝	負	分	差
1	横浜DeNAベイスターズ	53	41	12	0	0
2	広島東洋カープ	54	38	16	0	3.5
3	読売ジャイアンツ	51	34	17	0	6
4	阪神タイガース	54	17	37	0	24.5
5	中日ドラゴンズ	53	16	36	1	24.5
6	東京ヤクルトスワローズ	55	13	41	1	28.5

パ・リーグ チーム応援順位表

集計期間：2016.3.25～5.31

	チーム	試合数	勝	負	分	差
1	福岡ソフトバンクホークス	48	36	12	0	0
2	千葉ロッテマリーンズ	52	32	20	0	6
3	北海道日本ハムファイターズ	50	27	23	0	10
4	オリックス・バファローズ	48	22	26	0	14
5	埼玉西武ライオンズ	51	17	33	1	20
6	東北楽天ゴールデンイーグルス	49	14	34	1	22

セ・リーグ選手 5月度応援ポイント順位表

集計期間：2016.5.1～5.31

	選手名	球団	応援ポイント
MVP	野村祐輔	広島	37,418
2	坂本勇人	巨人	21,800
3	ジョンソン	広島	21,334
4	菊池涼介	広島	19,393
5	丸 佳浩	広島	15,801
6	田中広輔	広島	14,560
7	新井貴浩	広島	14,447
8	エルドレッド	広島	14,137
9	小林誠司	巨人	14,011
10	山口 俊	DeNA	13,812

パ・リーグ選手 5月度応援ポイント順位表

集計期間：2016.5.1～5.31

	選手名	球団	応援ポイント
MVP	大谷翔平	日本ハム	18,360
2	デスパイネ	ロッテ	17,152
3	鈴木大地	ロッテ	12,562
4	角中勝也	ロッテ	11,935
5	加藤翔平	ロッテ	10,186
6	清田育宏	ロッテ	10,066
7	涌井秀章	ロッテ	9,171
8	サファテ	ソフトバンク	8,641
9	内川聖一	ソフトバンク	8,205
10	ナバーロ	ロッテ	6,810

※「メガホン!」とは、試合観戦中にユーザー同士がコメントを投稿することでチームや船主を応援できる、応援バトル型の一球速報アプリです。<http://mega-hon.com/>



プロ野球ペナント応援合戦順位表&月間MVP

今月の解説 (2016年5月度)

文：非公認団体 日本プロ野球応援協会

DeNAが誇る“応援の勝負強さ”

今月から、応援順位表は「試合ごとの応援合戦の勝敗」となる。応援ポイントの累計では広島と巨人が全体の2強となっているが、セリーグの首位はなんとDeNA。応援の勝負強さで首位を走っている。試合は負けても応援じゃ負けない、という負けず嫌いのハマっ子がこの順位を支えていると思われる。

個人ランキングは激変！“いま最も応援されている選手”は広島・野村

個人ランキング、セリーグは広島勢の躍進がとにかく目立つ。3・4月度で全体2位の野村祐輔が1位に輝いたのは、やはりカーブ女子人気No.1とも言われる甘いリレックスも影響しているだろう。以下を読んでもらえば分かるが、2か月続けて応援ランキング上位をキープするのは並大抵のことではない。

打撃好調が続く巨人・坂本は全体2位に急浮上。「3・4月の好成績は一時的なものだろう」と冷めた目で見守っていたファンが、5月になって「今年は本物だ！」とにわかに応援し出したのか。一方、先月トップの巨人・菅野は5月も防御率0点台と、素晴らしい成績を維持していたが、5月度はなんとリーグ26位に急降下。内容は良かったものの、勝ち星に恵まれなかったために「期待に応えてくれなかった」と厳しい評価を下されたのかもかもしれない。

パリーグでは、ソフトバンク勢のポイントが軒並み激減。打撃絶好調・大谷の1位浮上もロッテの大躍進も、鷹の墜落あってこそ。前回圧倒的1位だったバンデンハークは5月、球史に残る大記録を達成したにも関わらず、なんとリーグ80位に沈んだ。美人妻をほったらかしてのゴシップとかあったっけ？…と勘繰ってしまうほど応援ポイントを減らしている。チームが独走するほどの強さ故、ファンはすでにポストシーズンを見据えて力を溜め始めたのか…来月以降の動向に注目だ。

5月度の応援ベストナイン

投手の3本柱は野村・ジョンソン・大谷。投手部門は4位が山口俊、5位がモスコソとDeNA陣が奮闘。来月はさらなる躍進を期待したい。捕手は2か月連続で巨人の小林。実際の成績では阪神・原口が頭角を現しているが、応援ポイントの伸びは今一つ。内野手のTOP4は巨人・坂本、続いて菊池・田中・新井の広島勢となる。ほぼ広島の内野だ。外野手の上位3人はデスパイネ、丸、角中。鯉の季節はやはりコイが強かった。